

ほこた市 議会だより

令和5年4月発行 No.71



いっぱい友達できるかな

～銚田北幼稚園入園式～



令和5年度の予算は
どのように使われるかな？
確認しよう！



銚田市マスコットキャラクター ほこまる

議会映像配信の お知らせ



生中継・録画中継で
本会議を傍聴できます。

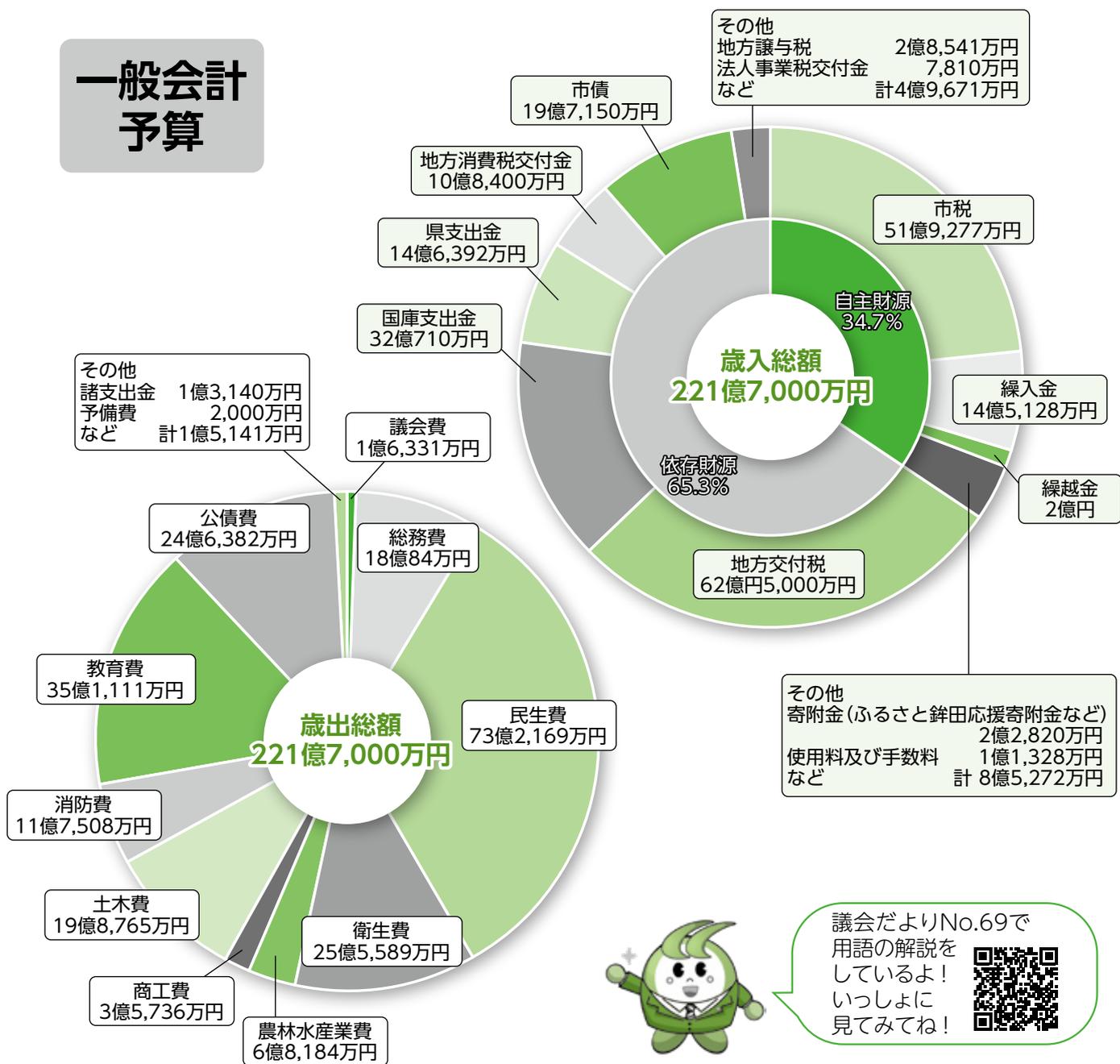
銚田市議会 中継

検索

令和5年度予算特集 …… P2～7
令和5年第1回定例会の審議結果は？ …… P8～10
会派代表者質問の内容は？ …… P10
ここが聞きたい！一般質問
8人が質問しました …… P11～15
議会の活動を報告します …… P16～17
令和4年度議会報告会開催報告 …… P18～19

令和5年度一般会計当初予算は221億7,000万円

一般会計 予算



議会だよりNo.69で用語の解説をしているよ！
いっしょに見てみてね！

会 計 名	本 年 度 予 算 額	増 減 額	増 減 率	
一 般 会 計	221億7,000万円	2億6,700万円	1.2%	
特 別 会 計	国民健康保険	72億4,148万円	3億1,627万円	4.6%
	後期高齢者医療	6億9,029万円	5,016万円	7.8%
	介護保険	51億 192万円	△3,582万円	△0.7%
	農業集落排水事業	2億3,211万円	594万円	2.6%
企 業 計	水道事業	21億7,433万円	2億1,830万円	11.1%
	下水道事業	8億 690万円	8,497万円	11.7%
合 計	384億1,702万円	9億 682万円	2.4%	

※予算額は四捨五入により記載しているため、合計等が一致していない場合があります。



特集

令和5年度注目の事業をcheck



交通弱者の移動・交通手段の確保を!

6,066万円



公共交通対策事業

主な事業

デマンド型乗合タクシーの運営主体の銚田市公共交通会議に対し、業務等に係る費用を負担することで利用者の利便性向上を図る。また、デマンド型乗合タクシーでは補えない市外への移動需要のため、市外限定タクシークーポンを販売する。



市外限定タクシークーポンって?

デマンド型乗合タクシーほこまる号の利用者向けに市外医療機関に限定したタクシー割引クーポンの販売を予定しています。

※詳細や開始日については今後HPや広報ほこたに掲載されますので、ご確認ください。

↓そこで! ほこまる号に登録していない方! ぜひ登録を!

デマンド型乗合タクシーとは、自宅から病院、商店などの施設まで送迎してくれる乗合のタクシーです。

ほこまる号の利用者登録方法はこちら

①利用登録申請書取得

- ア. HPでダウンロード
- イ. 銚田市役所まちづくり推進課・介護保険課
旭総合支所・大洋総合支所

②申請書提出・送付

- 持 参: 取得した先(①のイ)窓口へ
- 郵 送: 〒311-1516
銚市新銚田2-12-6 マユターサセオ1F
ほこまる号予約センター

メール: info@hokota-demand.com

このほか、WEBでも利用者登録ができます!

ワンポイントアドバイス

利用するには1人ひとりの「利用登録」が必要です。

「急遽使いたい!」というときのために、利用する利用しないに関わらずとりあえずの申請をおすすめします。



利用登録等詳細はこちら

■ここで再度確認しておきましょう!ここが気になる『ほこまる号』!

Q 年齢制限はあるの?

A ありません。子供からお年寄りまで利用できます。
ただし、未就学児は保護者同乗必須です。

Q 運行時間は?

A 月曜から金曜の午前8時から午後5時まで。
1日6便運行しています。

Q 運賃は?

A 1回(片道) 500円。
ただし、割引制度があります。

Q 乗車券はあるの?

A ありません。降車時に現金で支払いください。

Q 利用前にやることはあるの?

A 事前に利用登録が必要です。また乗車の際は予約が必要です。

Q 予約方法は?

A 予約センターに電話をし、以下の内容を伝えます。

- ・名前
- ・電話番号
- ・利用日と時間
- ・乗降場所(どこから)
- ・降車場所(どこまで)
- ・シルバーカー利用の有無



ほこまる号予約センター

☎0291-36-6777

受付: 平日午前8時から午後4時30分まで



結婚から妊娠、出産、子育て支援、 教育環境の充実するまちへ

知っていますか？
 銚田市は若者の出会いと暮らしを
 全力で応援しています！
 ～令和5年度もあります！
助成金・補助金・支援金～

- ・結婚支援団体等加入時助成金
 助成金額：入会登録料全額
- ・結婚新生活支援事業補助金
 補助金額：最大60万円
- ・移住定住促進助成金
 助成金額：限度額50万円
 市外転入世帯20万円
 市内定住世帯10万円
 加算：子育て助成金1人につき5万円
 三世帯同居等助成金10万円
 銚田市空家バンク登録物件助成金10万円

さらに…
 銚田市では素敵な出会いのお手伝いも行っております！

- ・銚田市出会いコーディネートセンター
 婚活マナー講習やお付き合いから結婚に関する
 様々な相談、登録制によるお相手の紹介等を行っ
 ています。

■入会要件
 結婚を希望する銚田市在住、在勤の方。
 または将来銚田市に住みたい方

■入会料金 無料
 ■利用方法 入会事前申込が必要です
 ■開所日 (週3日)
 水曜日・金曜日 午後4時～午後7時
 日曜日 午前9時～正午
 ※祝日・年末年始は閉所

年齢制限等
 申請条件は
 こちら




■人口減少対策事業



主な事業
5,750万円

銚田市出会いコーディネートセンターの相談
 日数増や交流会等を開催し出会いの場の創出
 を図る。また、県と連携した助成を更に充実さ
 せ、移住定住の促進を図る。

■妊娠・出産への支援

不妊・不育治療助成から産前産後の相談まで
産前・産後サポート事業

訪問型ケアサービスなど産後のサポートをします！
子育て世代包括支援サービス事業

妊娠・出産時に計10万円を給付！
出産・子育て応援交付金事業

など様々な
 相談事業を行っています！



■子育て支援・教育環境の充実を

市内在住の保育所、幼稚園、小中学校に
 通う児童生徒の給食費の負担を軽減！
 食材費高騰分も市で負担し安心安全で
 おいしい給食を提供します！



教育・子育て支援給付金事業
銚田市学校給食センター運営管理事業
保育所等入所児童給食費助成事業
第一保育所・第二保育所運営事業
幼稚園運営事業

令和8年度の開校に向けて
旭中学校区統合小学校整備事業

児童の安全のため通学路の整備を行います
統合小学校通学路整備事業

子育て支援機能の充実を！
 子育て世代の集いの場に！
(仮称) 銚田市子育て・
コミュニティセンター整備事業

幼稚園・保育所巡回で発達
 の相談・支援を強化
母子保健事業

安心して子育てできる
 環境づくりのための
 利用者ニーズを調査します
子ども・子育て支援事業計画策定事業



など様々な子育て世代に選ばれるまち
 に向け事業を行っています！



空家対策事業

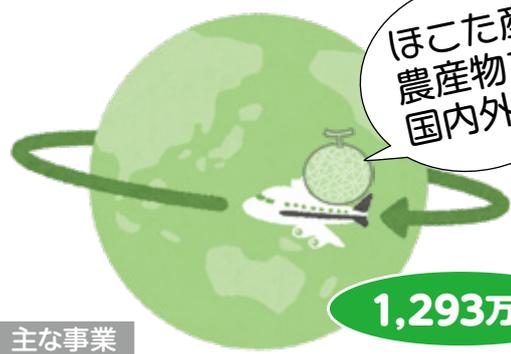


510万円

主な事業

空家パトロールなど管理不全空家の管理適正化を図る。また、管理不全空家の解体に関する支援を行う。

販路拡大支援事業



ほこた産農産物を国内外へ

1,293万円

主な事業

国内外の販路拡大のため、市内農産物等の認知度向上を図りながら、実際に販路拡大に取り組む生産者等へ支援を行う。

地域魅力発信事業



2,255万円

主な事業

首都圏でのフェアの開催等を通じたプロモーション活動やメディア、SNS等を活用して銚田市の魅力を発信する。

高齢者等へのごみ出し支援が始まります

廃棄物対策事業



ごみ出し支援の詳細はこちら



1億4,516万円

主な事業

新規事業として高齢者等の自宅玄関先からごみを収集し、希望者には声かけによる安否確認をする「高齢者等ごみ出し支援事業」を行う。

観光イベント事業

市内観光イベント10月開催予定!



主な事業

秋に開催される全県的な観光PR「茨城デスティネーションキャンペーン」期間に本市のメロンを全国にPRすることを目的としたイベントを開催する。

1,539万円

※写真は今年のようでしょうキャラバンの様子

市 HP で令和5年度予算書及び予算に関する説明書が公開されています。



予算書はこちら



予算に関する説明書はこちら



総務企画分科会 主な質疑

所管：政策企画部、総務部、会計課

地場産業の育成を

問 自動販売機設置の入札参加要件は。

答 5台の自動販売機を設置。3台は市内、2台は県内事業者とした。

意見 地場産業育成のため、市内業者のみでよかつたのではないか。



※消火栓イメージ

市民の生命・財産を守るための検討を

問 国道51号拡幅工事に伴う5件の防火水槽撤去工事の内容は。

答 拡幅工事に伴い防火水槽を撤去し、消火栓の設置を検討している。新しい防火水槽の設置については、地元区長や消防団と協議をしていきたい。

意見 市民の生命・財産を守るため万全を期すことを求める。

経済建設分科会 主な質疑

所管：環境経済部、農業委員会、建設部、上下水道部

廃プラ処理の負担金は

問 廃プラスチック処理の現状と今後の対策は。

答 過去の台風により処分費は増加していた。また、ビニールの輸出制限があることから処分費は高騰している。今後はリサイクルのため分別回収を強化し経費を削減する。

問 農家の負担金は市町ごとに異なるのか。

答 近隣市町の中で農業者負担額は1番低い。

国道51号拡幅工事の進捗は

問 国道51号子生地区道路整備事業の用地交渉の進捗は。

答 対象件数79件で、契約締結に至っているのは42件。契約率53.2%。



※道路イメージ

厚生文教分科会 主な質疑

所管：福祉保健部、福祉事務所、教育委員会

旭中学校区統合小学校の追加用地の用途は

問 旭中学校区統合小学校の追加用地の用途は。

答 旭中学校区統合小学校整備に係る調整池を整備するため、追加で用地を購入する。処理容量は約5,000立米を想定している。



※調整池イメージ

市単独での小児マル福支援

問 医療福祉単独事業の対象者は。

答 県で行っている医療福祉事業の対象外となる13歳から18歳の外来診療分及び所得制限で非該当になる0歳から18歳の小児が対象。



医療福祉費支援制度(マル福)についてはこちら



■ 予算特別委員会全体会 ■

全体会では、まず亀山総務企画分科会会長、高埜経済建設分科会会長、小沼厚生文教分科会会長から分科会報告を受け、それに対する質疑を行いました。



亀山総務企画分科会会長



高埜経済建設分科会会長



小沼厚生文教分科会会長

主な質疑として、総務企画分科会の所管では、(仮称) 鉾田市子育て・コミュニティセンター整備事業の基本設計の遅れに関する事、国道51号拡幅工事に伴う防火水槽の撤去による消火栓設置についての質疑がありました。

経済建設分科会の所管では、指定ごみ袋売払い収入額に関する事、涸沼ラムサール条約に係る施設等整備事業及び安塚公園ふれあい広場管理事業に関する施設管理について、国道51号拡幅工事に関する用地買収の進捗状況についての質疑がありました。

厚生文教分科会の所管では、旭中学校区統合小学校整備事業における用地購入に関する事、民間保育所等保育委託事業における監査に関する事、老人福祉施設における改修工事に関する事、小中学校就学援助費の審査基準について質疑がありました。

■ 主な討議

議員間討議(自由討議)とは

議会基本条例第9条第2項に「議会は、本会議及び委員会において、議員、委員会及び市長提出議案並びに市民提案に関して審議し結論を出す場合、議員相互間の議論を尽くして合意形成に努めるものとする」と謳われている。

○市外限定タクシークーポン券事業

- ・受託者を市内タクシー事業者に限定すると利用者の住む地区によっては公平さが担保されない
- ・クーポン券の管理について不正が起きる可能性が否定できないのではないかと
- ・受託事業者を市内に限定することは市内の活性化につながる
- ・利用者の利便性に不公平感があってはならないとのことから制度設計を見直すべき
- ・福祉タクシーやほこまる号の運用拡大などについても検討すべき

○旭中学校区統合小学校整備事業

- ・調整池として購入する土地の面積が必要以上に大きいのではないかと
- ・必要であるならば土地の購入をすべき
- ・当初計画していた学校敷地内での排水処理の整備よりも新たに土地を購入して整備した方が工事費を抑えられること
- ・将来的に近隣の雨水対策に活用することが期待されることから用地購入は妥当ではないかと

■ 主な討論

議案第2号 令和5年度鉾田市国民健康保険特別会計予算

反対討論

コロナ禍や物価高騰の影響が市民の生活費を圧迫している中、国民健康保険税の引き上げをすることにより、ますます生活が苦しくなる。これにより、保険税の支払いが滞り短期証や資格者証の方が増える恐れがあるため、一般会計からの繰入れをし、保険税を引き上げるべきではないため反対する。

賛成討論

急速な高齢化や医療費の増加などによる厳しい財政の中、過度な税負担が生じることがないように基金を活用し、激変緩和をしながら国民健康保険制度を維持しており、本案は加入者がお互いに支え合い、今後も安心して暮らし続けられる社会を形成するために必要であるため賛成する。



令和5年第1回定例会

3月2日〔木〕本会議

・開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・諸般の報告

・施政方針並びに市長提出議案の説明

（議案第1号から第19号及び報告第1号から第2号）

・議案第1号提案説明

・委員長報告

3月6日〔月〕本会議

・会派代表者質問

・一般質問

3月7日〔火〕本会議

・一般質問

3月10日〔金〕本会議

・議案第8号から第19号及び議案第1号

質疑・討論・採決

・市長提出議案の説明（議案第20号）

・茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙

3月13日〔月〕各常任委員会（総務企画・経済建設・厚生文教）

3月14日〔火〕本会議

・施政方針及び議案第1号から第7号質疑

（令和5年度当初予算案）

・予算特別委員会の設置

3月15日〔水〕総務企画分科会

3月16日〔木〕経済建設分科会

3月17日〔金〕厚生文教分科会

3月22日〔水〕予算特別委員会（全体会）

3月24日〔金〕本会議

・議案第1号から第7号委員長報告・討論・

採決

・議案第20号質疑・討論・採決

・委員長報告

・閉会

概要

令和5年第1回定例会は、3月2日から3月24日までの23日間の会期で開かれました。

議案は、市長から令和5年度各会計予算など計20件が提出されました。また、議員からは議案が1件提出されました。

なお、令和5年度各会計予算は、予算特別委員会に付託され、所管する分科会ごとで集中審議が行われました。

（P.6、7）

一般質問では、8人の議員から通告があり、介護予防や農産物の販路拡大に関することなどについて質問を行いました。また、公明党鉾田市議団が会派代表者質問を行いました。

（P.10～15）

常任委員会では、議会報告会での要望書等の取り扱いについて協議を行いました。

（P.19）

その他、総務企画常任委員会ではインボイス制度の中止を求める請願の審査を行い継続審査となりました。また、「市外限定タクシークーポン事業」についての所管事務調査、経済建設常任委員会では新鉾田駅周辺再整備に係る現地調査、「鉾田市観光物産協会運営の変更点」についての所管事務調査、厚生文教常任委員会では、鉾田南児童クラブ及び旭中学校区統合小学校用地へ赴き現地調査が行われました。

今定例会での市長提出議案及び議案はすべて可決となりました。

選挙

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員

（当選人）

田口 清一



■主な討論

議案第1号 令和5年度鉾田市一般会計予算

反対討論

人口減少対策事業の拡充など評価に値する点は多くあるが、3つの事業を反対する。

①公共交通対策事業のうち市外限定タクシークーポン券事業

対象事業者を市内タクシー事業者に限定することで、利用者の利便性を著しく欠くこと、タクシー事業者に過度な負担を強いること、利用できる地域が限定されることなど不公平感に満ち溢れた施策である。

②(仮称)鉾田市子育て・コミュニティセンター整備事業

令和5年3月末に基本設計が策定される予定だったが完成せず、分科会での答弁でも遅れているの一点張り。避難所のないあの地域には避難所として機能する施設の必要性は認めているが、事業計画の約束が守れないのであるならば、事業の凍結、白紙化を求める。

③スポーツライミング推進事業

当初より3倍もの予算になり改修工事を行った『とくしゅくの杜』。そういった経過があったにもかかわらず説明のないまま1億円もの駐車場整備を計上している。

過去に付帯決議、修正案を可決されていても、また思い付き予算を組み込んでいる。これまでに政策の不備を訴えてもまた、このように不備な政策を提案する。事業そのものは否定しないが、このまま満場一致で可決すると執行部の暴走は止まらなくなるのではとの懸念から、不備を指摘して反対する。

賛成討論

現在、3年間に及んだコロナ禍から、脱却しようとしている。これまで、市民生活を守るため、積極的な財政出動をしてきたが、令和5年度予算は、平時に戻すべく身の丈にあった予算に移行させるとともに、アフターコロナも見据えつつ、次年度以降に本格化する旭中学校区統合小学校をはじめとした大型公共事業にも対応していかなければならない。

令和5年度は、あらたに“幸”循環のまちづくりを打ち出し、多くの産業振興政策、人口減少対策、子育て支援はもちろんのこと、ゴミ出し支援やエアコン設置補助などの高齢者支援も含まれ、市民生活に直結した予算となっている。

市長からの施政方針や各種事業について説明を受け、一部事業においては試験的な試みもあるが、今後、当事者意識を念頭に置き、市民ニーズを踏まえた制度設計に努めること、事業の進行管理を着実にを行うことを要望し、賛成する。

各議員の賛否が分かれた議案等

会議名	議案等	議員名															討論		採決結果		
		土子勝也	羽成洋一	鬼澤治男	高埜米治	亀山彰	二重作茂兵衛	小沼勝	根崎真	水上美智子	入江晃	岩間勝栄	井川茂樹	米川宗司	山口徳	田口清一	堀田正衛	高野衛		※議案等について	賛成
第1回定例会	第1号 令和5年度鉾田市一般会計予算	●	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高埜	亀山	可決
	第2号 令和5年度鉾田市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	小沼	高野	可決
	第9号 鉾田市国民健康保険条例及び鉾田市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	小沼	高野	可決

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 退：退席 欠：欠席 除：除斥

全会一致で可決した議案等

会議名	議案等
第1回定例会	第3号 令和5年度鉾田市後期高齢者医療特別会計予算
	第4号 令和5年度鉾田市介護保険特別会計予算
	第5号 令和5年度鉾田市農業集落排水事業特別会計予算
	第6号 令和5年度鉾田市水道事業会計予算



市長提出議案概要はこちら



全会一致で可決した議案等 / 報告を要する案件

会議名	議案等
第1回定例会	第7号 令和5年度鉦田市下水道事業会計予算
	第8号 鉦田市個人情報保護法施行条例の制定について
	第10号 鉦田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	第11号 鉦田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	第12号 鉦田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	第13号 令和4年度鉦田市一般会計補正予算（第9号）
	第14号 令和4年度鉦田市水道事業会計補正予算（第4号）
	第15号 市道路線の変更について
	第16号 鉦田市公の施設の指定管理者の指定について
	第17号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
	第18号 人権擁護委員の推薦について（米川 玲子 氏）
	第19号 人権擁護委員の推薦について（浅倉 涼二 氏）
	第20号 令和5年度鉦田市一般会計補正予算（第1号）
	議議案第1号 鉦田市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について
	報告第1号 専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）
	報告第2号 専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）

幸せを感じるまちづくりとは



公明党鉦田市議団 入江 晃 議員



問

施政方針によると令和5年度は《未来へ紡ぐ「幸」循環のまちづくり》を掲げているが、幸せの感じ方や想いは人それぞれである。市長の思う幸せを感じるまちづくりの根幹とは何か伺う。

答

【市長】行政は、市民の幸せを担っていく責務を負っている。私の考える幸せを感じるまちづくりは、鉦田市に住む若者が出会い、結婚し、鉦田で子どもを産み育て、その生まれた子どもたちが充実した教育や支援を受けることによって、鉦田市に誇りを持ち、一度はふるさとを離れたとしても、また地元に戻ってくる、そして、希望に満ちた人生を歩んでいけるまちをつくることである。

さらに、市外の方たちからも、鉦田に行ってみたい、住んでみたい、住んでよかった、住み続けたいと感じてもらえる鉦田市を築いていくことであると考えている。

そして、将来にわたり持続可能なまちを築いていかなければならないと強く思う。

そのためには、本来に未来の子どもたちの幸せにつながるかどうかという視点を持って、結婚から妊娠、出産と始まり、生活基盤の整備まで切れ目のない市民サービスを提供していくことが、真の人口減少対策につながっていくと考え、令和5年度は改めて幸せの字を当てた未来へ紡ぐ「幸」循環のまちづくりを掲げた。

【その他】

- ・令和5年度における7つの基本施策について
- ・予算編成における財政調整基金の活用について



ここが聞きたい!! 一般質問

一般質問とは？

議員が市政全般の現状や方針などを問うものです。ここでは、一般質問を要約して掲載します!!

議員名	質問事項
羽成 洋一 P12	1 本市の推進するスポーツを通じたまちづくり及び教育振興について
	2 前期高齢者と75歳以上の後期高齢者を対象とする介護予防事業の差別化の必要性と取組みについて
水上 美智子 P12	1 医療用ウィッグについて
	2 加齢性難聴における聴力検査について
	3 子育て支援について
	4 結婚新生活支援事業について
入江 晃 P13	1 人口減少対策について
	2 奨学金返還支援について
	3 販路拡大支援事業について
	4 SDGsの実現に向けたESD教育の推進について
土子 勝也 P13	1 新規就農者育成総合対策事業について
	2 中小企業支援事業について
	3 持続的農業確立推進事業について
	4 遊休農地について
	5 銚田市内の病院の状況について
亀山 彰 P14	1 銚田市産地ブランドアップ振興協議会解散後の基幹産業支援施策について
	2 少子化、高齢化と人口減少に対する銚田市の総合戦略について
	3 DX推進と窓口改革について

議員名	質問事項
小沼 勝 P14	1 農業振興地域整備計画の見直しについて
	2 銚田市農産物国内海外販路拡大事業について
高埜 栄治 P15	1 身近な生活課題解決に向けた現状把握ならびに施策（条例制定・改正、制度確立）の構築及び実施予定について
	2 市民生活の向上ならびにまちづくり推進に活用するDX事業計画について
	3 インフラ整備に取り組む際の防衛省補助及び交付金ならびに原子力関連交付金等の活用について
高野 衛 P15	1 がん検診の負担軽減について
	2 保育園での使用済み紙オムツの回収と紙オムツの無償提供について
	3 体育の授業における脱マスクの指導について
	4 ポイ捨て防止と環境美化について
	5 地球環境と循環型社会について
	6 西部工業団地買収用地の雑草対策について

お知らせ! 銚田市議会ホームページで一般質問の会議録を公開しています!

- ①銚田市のホームページへアクセス
「<http://www.city.hokota.lg.jp>」
- ②市ガイド内の「銚田市議会」をクリック
- ③会議録をクリック



※今定例会の会議録は6月上旬公開予定です。

また、各議員の2次元コードを読み込むことで、一般質問の録画放送を再生できます。

銚田市議会 会議録





羽成 洋一

高齢者の健康寿命延伸に向けて



問

還暦を過ぎても定年延長や再雇用制度を生かして働く60代の方が増加し、さらに65歳から70歳までの前期高齢者にあつては積極的に働ける方が多くなっている。本市では、健康づくり財団で労働者の健康づくり事業を実施しているが、前期高齢者向けの介護予防機会をどのように創出しようとしているのか伺う。

また、社会福祉協議会の支援を受け、市内各地で開催しているサロンについて、一般的なお楽しみ会などの集会には80歳になつても参加している方がいる一方で、シルバーハビリ体操や筋力アップメニューなどは80歳を過ぎると足が遠のく方が増える傾向にある。さらに、歩いて行ける範囲のサロンでも、歩くことさえ負担になつているケースも見受けられる。

そこで、参加が困難となつた約80歳以上の後期高齢者に向けた少人数を対象とする健康づくりのための有資格者の派遣、

答

あるいは集会所までの移動支援などを行う考えがあるのか併せて伺う。

【福祉保健部長】働き世代に関しては、単独で教室を開催してもなかなか参加者がいないという現状がある。そういった中で、JIAや商工会等とタイアップし、働き世代向けの健康教室を開催し、早くから介護予防に対する意識啓発や事業所の健康づくりという面も踏まえての取り組みをしていきたいと考えている。

また、80代以上の高齢者の対応については、委託事業の送迎をしている陽だまりサロンを3か所で開催している。来年度は民間事業者に委託してサロンを1か所増設する予定である。

さらに起き楽広場という事業を実施しており、講師を呼び各保健センターで開催している。参加者が少なく、参加者が増やすという課題があることからPRしていきたい。

ランドセル購入補助の検討

水上 美智子



問

富山県立山町ではランドセルと同程度の機能や耐久性を備えた通学用のリュックサックを新入学児童に無償で配布している。本市においても保護者の経済的負担の軽減の一助として新入生のランドセル購入補助金の検討をしては如何か。

答

【教育部長】県内にランドセル等の学用品を無償で提供している自治体があることは承知している。

本市では、市内の企業や団体の支援により、通学帽子やランドセルカバー、防犯ブザー、安全傘、反射材つきのたすきの寄贈を受け、入学時に配布している。

保護者の経済的負担の軽減としては、現在小中学生の給食費を月額1,500円とする支援事業を実施している。

子育て世代に選ばれる銚田を推進していくためにも、どのような政策が有効なのか、引き続き研究を進めたい。

再質問

学校別の市内小児童数の見込みは、令和5年が309人、令和6年度が268人である。予算的に厳しいと理解しているが、やはり保護者の負担軽減の一助になるのではないか

答

【教育部長】他自治体でも入学支援については様々な内容があるので、今後も引き続き研究を進めたい。

提言

少子化で出生数も令和4年の速報値で198人と減ってきている。市長の施政方針のなかで特に力を入れている子育て支援、教育環境の充実、将来の子育て世代から選ばれるまちにするため、前向きにランドセルの無償配布を検討していただきたい。



SDGsの実現に向けたESD教育の推進を



入江 晃



問

ESD教育とは、持続可能な社会の担い手を育てる教育である。男女の役割に関する固定的な観念やいじめ、DVなどの背景にある意識を変革し、人権尊重やジェンダー平等、平和、非暴力等のSDGsの達成に向けて行動する人を育てる大変重要な教育だと考えるが、本市での取組みを伺う。

答

【教育部長】本市のESD教育は、各学校において特色ある教育推進事業として、自分たちができるSDGsの資料収集やまとめの発表、タブレットを活用したESD教育で重視している他者と協力する態度や多目的、総合的に考える力の育成を図る取組みなどの実践を行った。

また、特別な支援が必要な児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置することで、ESD教育の目指す6つの視点のうち、一人一人を大切にすることを確保に努めている。学校現場におけるESD教育を効果的に推進するためには、ESDの考え方に基づき、各学校において組織的に取組

むことが重要であることから、今後も各学校における取組みについて助言、指導を行う。

再質問

ESD教育はSDGsを推進するために教育から進めなくてはならないという考えのもと、日本でつくり上げて世界に発信している。

国から学校に対しての教育の方針が出ていると思うが、どのくらい教育環境として指導し進めてきたのか。また、何年前からやっているのか伺う。

答

【教育部長】ESD教育については、2017年の3月に公示された学習指導要領等に掲げられている。各小学校で知識、理解にとどまらず、様々な問題を自分の問題として行動し、持続可能な社会の構築という観点を意識することにより、児童生徒の価値観の変容を引き出すことができるものと感じている。

答

【教育長】子どもたちそれぞれに自分の視点で大事だということを中心にしてからも解決していくような学習を進めていく必要がある。

新規就農者育成総合対策事業の現状は

土子 勝也



問

新規就農者育成総合対策事業は経営発展支援事業として、機械設備導入等の取組みに対し補助をしているが、現状について伺う。

答

【環境経済部長】今年度から新設されたこの事業は、本市の次世代を担う農業者となることを目指し、独立、自営就農する新規就農者に対し、機械、施設等の導入を支援すること、青年の就業意欲の喚起と就業後の経営発展を図ることを目的としている。

事業の概要としては、令和4年度中に独立就農する49歳以下の認定新規就農者を対象に、融資を受けて整備する機械、施設等の費用に対し、補助対象事業費上限1,000万円のうち4分の3を国、県で補助する内容である。

しかしながらこの経営発展支援事業は、茨城県の独自要件により既存事業である年間150万円を最長3年間受給できる経営開始資金事業との併給はできない。本市では経営開始資金の活用を望む相談者が多いため、本年度の要望はな

かった。

引き続き鹿行農林事務所普及センターと連携しながら、新規就農者が抱える課題に対し、適切なアドバイスや案内、周知に努め、新規就農者が望む支援が受けられるよう、制度の活用を推進していきたい。

再質問

補助金だけでなく農業経営者や、機械メーカーと一緒に研修を行うなどの考えがあるのか。

答

【環境経済部長】新規就農したいという相談があった場合は、まず勉強が大事になるので、先進的な農業経営者や普及センターと連携し、紹介を進めている。

また、本市には先進的な農業を行っている方が多く、新しくグループをつくって活動しているのので、職員もそういう場に赴き意見交換等を行っている。引き続き我々も一緒に考えていきたい。

意見

市として新規申込みだけではなく、定着して農業をどんどん進められるように今後力を入れて支援してほしい。





亀山 彰

統合中学校計画の是非は



問 少子化、高齢化、人口減少は本市だけでなく、日本全体の課題だと感じている。

その中で児童生徒数が激減し、クラス替え、部活動がままならなくなっていることから中学生の環境を変えることが必要と考える。そこで、統合中学校計画の考えについて伺う。

答 【教育部長】現在、市内の中学校に通う生徒数の推移は減少傾向にあり、平成29年度は1,161人、令和4年度は985人と5年前との比較で176人の減少、15.2%の減となっている。

少子化のさらなる進行や社会情勢の変化に伴い、将来的な市内の中学校の方向性については、検討が必要な課題として認識している。

再質問 文部科学省の資料を確認すると、クラス替え等ができなくなる前に、学校統合等により適正規模・適正配置を検討するよう謳われていることから、早急

に中学校の統合について検討する必要があると考えるが如何か。

答 【教育長】現在予想以上に少子化が進んでおり、平成24年度の再編計画の中で適正規模が示されてはいたが、ここまで減少するという認識はなかった。現在の状況を鑑み、今後中学校の子どもたちの教育や人間関係づくりがスムーズにいくように、方向性を検討しなければならぬと考えており、協議の場を持ちたいと考えている。

また、技術や家庭科の教員については兼務発令を行い、2つの学校を1人の教員が対応している状況もあることから、今後中学校の適正配置というのには必要と考えている。

提言 今から中学校を造ろうとしても、できるのは10年後、20年後になってくると思う。子どもたちが学べる環境が無ければ、人口流出につながってしまう懸念があることから、先手先手で中学校の統合を進めていただきたい。

農業振興地域整備計画総合見直しの目的は

小沼 勝



問 農業振興地域整備計画の見直しは、農業振興地域の整備に関する法律によって、本市の基幹産業である農業を守っていると酌み取れるが、今回の総合見直しの目的について伺う。

また、農用地区域の除外申請受付休止期間が長すぎるのではないかと伺う。

答 【環境経済部長】国は、おおむね5年ごとに農用地等の確保等に関する基本指針を変更することになっている。これに伴い、茨城県の農業振興地域整備基本方針が令和4年3月に変更になった。

本市においても、銚田農業振興地域整備計画に国の指針と県の方針を反映すること、国、県、市が一体となって農業と農業以外の土地利用の調整を行い、土地の有効利用と農業の健全な発展を図ることを目的としている。

農振除外申請の受付休止期間については実態把握の基礎調査や素案作成後の協議会での検討や県とのヒアリングに時間を要するため、県との協議を行い令和4年

10月から令和6年4月と設定した。休止期間において農用地区域内の農地については一般住宅や農業用倉庫等の建築ができなくなる。不便をかけるが皆様には理解していただきたい。

再質問 今回、農地法の第4条、第5条の申請について理解がなかなか難しいと思うが、これは農用地区域内の部分だけであって、農用地区域外であれば、第4条、第5条の申請は問題ないと認識している。

ハウスメーカー等からいろいろと苦情はあるか伺う。

答 【環境経済部長】問合せは毎月何件かあるが、前回、問題点があったので、今回は事前に何回か広報に掲載し、あるいはハウスメーカー等が来所したときに事前に説明を行っている。苦情は今のところない。

提言 今回休止期間が非常に長いのは業務内容がかなり膨大なためだと理解した。ぜひとも抜け目のない、きちんと施策どおり進めていただきたい。



身近な地域課題解決のための条例・制度構築は

高埜 栄治



問 身近な地域課題解決に向けた現状把握と条例制定、制度確立の構築について4点伺う。まず、ポイ捨て等によるまちの景観悪化の現状と対策を伺う。

答 【環境経済部長】「鉦田市まちをきれいにする条例」はあるが古いままの条例であるので精査したい。しかし、改正すれば良いという問題ではなく、庁内の体制づくりも必要になると思うので研究していきたい。

問 猫の不適切な飼育、飼養放棄並びに無責任な給餌による地域衛生の悪化及び住民間トラブルの現状と対策を伺う。

答 【環境経済部長】「猫の場合、登録制度の法令が整備されていないのが現状である。しかし放し飼いで猫の苦情が多くなっているため研究していきたい。

提言 動物愛護及び管理条を根拠に条例制定をしていく先進自治体もあるので検討されたい。

問 ヤングケアラーで再浮上した子どもたちの貧困の実態並びに衣食住に係る課題の現状と対策を伺う。

答 【教育部長】生活困窮者自立支援法に基づき要保護世帯や生活困窮世帯の子等に対して学習支援を行っている。また児童生徒の貧困の実態、衣食住に係る課題についても小中学校や民生委員、関係機関と連携し注視していく。

再質問 子どもの権利を擁護するためには条例が必要であり、子どもの権利擁護委員やチエックするための権利委員会設置が必要と考えるが如何か。

答 【教育部長】子どもたちを守る仕組みづくりについては、関係部局と協力しながら研究していきたい。

問 不動産登記法の改正と特例措置の活用に対する周知と所有者不明土地解消のための要綱等設置の考えを伺う。

答 【総務部長】相続登記の義務化、相続土地国庫帰属制度の概要や相続登記の免税情報等の案内のチラシを納税通知書に同封する作業を進めている。またホームページの改善にも努め周知していく。相続人申告登記、要綱等設置については、状況を見ながら研究していきたい。

がん検診の負担軽減を

高野 衛



問 生涯でがんになる確率は2人に1人と大変高く、日本人の死因の1位はがんである。がん検診は、命に直結する大事な検査であり、物価高騰の中、生活に困窮する市民にとっては、住民健診の費用だけでも大変な状況である。検診率の向上によって早期発見、早期治療につながるよう、検査料の減免を行うことを提案するが、市の考えを伺う。

答 【福祉保健部長】本市のがん検診の個人負担金額は実質的に市が約9割負担しており、個人負担が1割となっている。なお、県内の中でも個人の負担額はかなり低額となっている。これ以上の減免となれば、無料ということになると考えている。

しかし、県内で無料にしている市町村よりも、本市の受診率は高く、負担額をゼロにしたところで受診率の向上にはつながらないと考える。しかしながら、早期発見、早期治療につながる

ことが重要であることから、市民一人一人の健康意識の高揚を図ることで、受診率の向上に努めていく。

再質問 受診率向上のための新しい取組みは何を考えているのか伺う。

答 【福祉保健部長】新たな取組みとして、健康増進課で保健師、栄養士が常駐し、月1回「なんでも健康相談日」を設け、その中で健診データなどで健康状況を確認し、健康指導をしていきたい。

提言 胃がん検診の受診率について、他のがん検診と比較すると低いことから、減免も含め検討していただきたい。



委員会活動報告

議会運営委員会視察研修 (令和5年1月30日～1月31日)

目的 議会運営等に関する先進的な取り組みを調査研究し、本議会の運営に反映させ、より開かれた議会を実現するため



委員長報告
2:55:40～

京都府
福知山市

活発な自由討議を目指して

福知山市議会では、平成26年12月に議会基本条例で謳う、『会議における議員相互の自由討議により議論を尽くして合意形成に努める』ことを実践するために自由討議を活発に実践しています。特に予算・決算審査委員会では積極的に自由討議を実践し議論を深め、執行部に対し意見書または提言書を提出しています。この意見書・提言書をもとに執行部との意見交換を交わしながら、次年度予算に反映させていくという一連の政策循環サイクルを確立されていました。



(福知山市 研修の様子)



(福知山市議会議場)

本市議会においても予算・決算特別委員会のなかで自由討議を行う場面を取り入れておりますが、なかなかうまく運用することができていないのが現状です。

今後は委員会の中で議員同士が活発な意見を出し合うための努力が必要であり、また、執行部に対し提言をとりまとめるのであれば、多くの市民の意見に耳を傾けなければなりません。市民からの意見をよく勘案し、市全体の福祉向上を図るための提案を議会の総意として執行部に提出することが今、議会に求められることであると思えます。

経済建設常任委員会視察研修 (令和5年1月25日～1月27日)

目的 農業及び都市計画に関する先進的な事業及び取り組みを調査研究し、議会活動に活かすため



委員長報告
3:03:03～

福岡県
朝倉市

第2次朝倉市食料・農業・農村基本計画に基づく農業振興

朝倉市では小規模農業者で構成する農業団体等と連携を図りながら生産履歴管理等の活用を促進し、消費者の安心感を高めるなど「あさくら産」農産物の安全性を確保していました。また、「地産地消推進店」制度により認定された小売店・飲食店・直売所のマップを作成し、消費者が積極的に地元農産物を選び、地産地消を支えていく環境整備にも取り組んでいました。

本市においても生産者や農業団体、事業者や消費者など、すべての主体が各々の役割に応じた取り組みを積極的に行うことができるよう計画的かつ総合的に支援する必要性を感じました。



(朝倉市議会議場)

福岡県
柳川市

水景観を生かした観光振興

柳川市では景観に関する取り組みが昭和46年から始まっており、川下りコースの掘割周辺を中心に、その付近の重要な遺産や自然美を守るために柳川伝統美観条例を制定しました。平成27年に柳河をはじめ北原白秋の家などが「名勝水郷柳河」の指定を受け、さらに地域景観の質の向上を目指し昼間だけでなく夜間の景観にも積極的に取り組み主要川下りコース沿いにおける夜間景観基本計画が策定されました。

本市においても豊かな自然環境の保持や市街地の再整備など将来に希望をもって暮らすことのできる魅力的なまちづくりが重要と感じました。



(柳川市 研修の様子)



委員会活動報告

原子力施設の安全に関する調査特別委員会視察研修(令和5年2月20日～2月21日)

目的 国の政策による高速炉の研究開発、高温ガス炉とこれによる熱利用技術の研究開発の実施状況の調査・研究のため



委員長報告
3:12:30～

日本原子力
研究開発機構
大洗研究所

次世代革新炉 研究開発の状況と安全性

高温ガス炉であるHTTRは我が国初の高温ガス炉で固有の安全性を有しております。HTTRは950℃の高温が発生することから、この熱源を利用して水素を製造するシステムである水素製造試験装置「ISプロセス」を構築中であります。水素製造システムで水素を製造し燃料電池自動車や製鉄に水素を使用することによりCO₂の排出を減らすことができ環境問題にも貢献できるとのことです。



(高温ガス炉「HTTR」)

高速実験炉「常陽」は高速炉の開発のための研究だけではなく、医療用ラジオアイソトープ製造にも取り組んでおります。例えばがん治療に使えるアクニチウムの製造が可能で、これを用いることでがん細胞を直接死滅させることができるため、医学界から期待されております。

また、医療用ラジオアイソトープは全量を海外に依存しているため、国産化への期待が高まっているようです。「常陽」では、大量の医療用ラジオアイソトープが安価に製造することができるため、2026年度までに製造実証を予定しているとのことでした。



(高速実験炉「常陽」)

議会広報編集委員会視察研修(令和5年2月6日～2月7日)

目的 議会広報に関する先進的な取り組みを調査研究し、議会広報編集活動に活かすため



委員長報告
3:16:10～

兵庫県
播磨町

見てもらえる議会だよりに向けて

播磨町議会は、兵庫県町議会議長会の議会広報コンクールで優秀賞や特別・中央文化社賞などを受賞しており、高く評価をされております。特徴としては、表紙の題字を町内の小学生が書いていることです。これは幅広い年代層の方々に議会に対する関心を持っていただきたいとの思いから町内4つの小学校の児童に表紙の題字及び裏表紙に掲載する播磨町に関する作文の依頼をしているとのことと好評であるとのことでした。



(はりま議会だより)

はりま議会だよりの編集は委員や議員が自ら行うことを基本として、委員会を数多く開催し、時には1日がかりの編集を行い充実した内容の議会だよりを発行してまいりました。また、委員が写真を撮りに赴き、自ら掲載許可を取るなど住民とのコミュニケーションが図られることで議員や議会が身近に感じられるのではないかと感じました。

本委員会においても、「見てもらえる議会だより」に向け、よりよいものとなるよう研究してまいります。



(播磨町議会議場)



令和4年度 議会報告会 『議会と市民との意見交換会』開催

参加者37名。色々なご意見、要望をいただきました。

2月4日(土)に議会報告会を開催いたしました。

コロナ禍により開催を見合わせており、対面での開催は3年ぶりとなりました。

根寄副議長の開会のあいさつから始まり、議長より開催趣旨の説明の後、令和4年の議会報告を行いました。まず、入江議会運営委員会委員長から議会活動報告をし、次に亀山総務企画常任委員会委員長、高埜経済建設常任委員会委員長、小沼厚生文教常任委員会委員長から各常任委員会の所管事務報告をしました。



根寄副議長



岩間議長



入江議会運営委員会委員長



亀山総務企画常任委員会委員長



高埜経済建設常任委員会委員長



小沼厚生文教常任委員会委員長

その後、議会活動に関する市民との意見交換会では、参加者から現道舗装について、区長要望について、議員報酬についてなど色々なご意見・要望等をいただきました。

また、意見など自由に記入していただけるようにアンケートを配布したところ、たくさんのご意見をいただきました。

議会では、いただいたご意見・要望について、所管する常任委員会等で検討をおこないました。その結果、市民の皆さまの要望等を真摯に受け止め、市長へ「鉾田市議会報告会の成果に伴う要望書」として、提出をいたしました。



(鉾田市議会報告会の成果に伴う要望書の提出)

参加者の方々の声に対する委員会の検討は次ページへ



要望書の詳細はこちら



参加者の方々からの声

議会報告会でいただいた要望等について、所管する常任委員会等で検討いたしました。

- ・市庁舎各部に要望する場合に常任委員会の担当委員に説明し、委員から要望する各部へ話を伝えてほしい。

【議会運営委員会】

不当な口利きや執行部への圧力になりかねない。しかし市全体の福祉向上に寄与するものならば委員会、議会で議論を行っていく。

- ・(仮称) 鉾田市子育て・コミュニティセンター整備について、市民交流館の時に市民の意見を取り入れてほしい。議会として今後の設計等の内容を注視してほしい。

【総務企画常任委員会】

市民に対する説明が十分なされてない。説明会の開催など市民の理解が得られるよう周知活動をすべき。今後も注視していく。

- ・旧鉾田小学校跡地の再生を図るような有効活用はできないのか。

【総務企画常任委員会】

この跡地には借地があるため、借地についてよく精査をした上で、有効活用の方向性を検討していくべき。

- ・大洋小学校のスクールバスについて、通学路2キロ未満にも乗降場所を設置し児童を乗せてほしい。

【厚生文教常任委員会】

すでに運行している小学校との整合性がとれなくなる。しかし、スクールバス利用に対する不公平感を抱く声もあるので研究が必要と考える。

- ・第7跨線橋の自転車歩行者専用道路を全日通行止めではなく、時間帯通行止めにはできないのか。

【厚生文教常任委員会】

議会として「通学路の交通安全の確保を求めよう要望書」を提出しており、安全対策として容認している。しかし、今後の対応方針について市民に対し説明をしっかりとすべき。

- ・障がい者と健常者が集えることができ、楽しんで学べる施設が必要ではないか。

【厚生文教常任委員会】

健常者との交流、社会参加や自立の手助けにもつながることから、集いの場は必要と考える。

- ・行政区を退会する方が多くみられることから「行政区への加入及び参加を促進する条例」の制定を議員立法でお願いしたい。

【総務企画常任委員会】

市民等の役割を規定する条例については、執行権のない議会が提出はできない。災害時などの地域コミュニティは重要なので、加入促進の動きは必要と考える。

- ・「住みやすいほこた」の看板など魅力PRの看板を設置してみてもどうか。

【総務企画常任委員会】

PR 看板の設置は来訪する方への認知度向上、移住・定住、交流人口の増加につながると考えられる。

- ・大谷川及び巴川流域の荒廃水田の再生事業の議会や行政の支援は。

【経済建設常任委員会】

令和4年9月から11月にかけて水田の現地調査を行い、11月及び12月に地権者への説明会を実施していることを確認。今後の動向を注視していく。

- ・ふれあい通りの街路樹伐採の理由は。

【経済建設常任委員会】

樹木が歩行の妨げなどになることから区長からの要望書や市民からの苦情があり、伐採を行ったことを確認した。伐採後の歩道改修等が必要と考える。

- ・東関東自動車道開通による経済活動の活性化を見据えての施策の考えは。

【経済建設常任委員会】

産業振興に大きな効果をもたらすのではと期待。また東京、千葉方面からの観光客増加など交流人口増加を見据えた施策の検討を求める。

- ・東関東自動車道水戸線のサービスエリアを誘致できなかった(しなかった)理由は。高速道路からの一時退出を可能とする事業の検討は。

【経済建設常任委員会】

旧鉾田町時代からサービスエリアの設置要望をしていた経緯がある。一時退出については鉾田ICは該当しない。しかし鹿島灘海浜公園等整備に合わせたIC活用の検討はすべき。



掲載写真募集!!

あなたの写真を議会だよりに掲載してみませんか?

■写真のテーマ『発見! 魅力ある鉾田の風景』
(例 北浦などの水辺の風景、花いっぱいな風景 など)

■申込方法
下記の必要事項を明記のうえ、議会事務局まで画像データ持参またはメール(gikai@city.hokota.lg.jp)でお申し込みください。
・氏名・住所・電話番号・写真撮影場所(〇〇地区など)
・写真のタイトル(20字以内)
※団体名(〇〇クラブなど)も記載希望の方は、そちらも明記ください。
※掲載スペースの関係上写真は横向き。メールでの画像データはJPEG形式で6MB以内。

■注意事項
画像等の返却はできません。また、人物等を含む写真の場合は肖像権の侵害等が生じないよう、事前に被写体の承諾を得たうえでお申し込みください。



トルコ・シリア地震の被災者支援のため義援金を寄託しました 詳細はこちら



傍聴者の声

汲上地区
立木 治

市議会一般質問を傍聴しました。傍聴席はほぼ満席で区長さんが多かったようです。議員の皆さんは質問内容をよく研究されており、傍聴していてもその意味をほぼつかむことができました。また、執行部の答弁も誠意と前向きな姿勢を感じました。「住みよいまちづくり」のため市・議員各位が先頭になりがんばってほしいと思いました。できましたら事前にホームページ以外でも一般質問の質問者と内容を市民へ知らせてもらえると傍聴者が増えるのではないかと思います。

令和5年第2回定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/21	22	23	24	25	26	27
28	29 本会議 (開会)	30	31 一般質問	6/1 一般質問	2 一般質問	3
4	5 各常任 委員会	6 各常任 委員会	7 各常任 委員会	8	9 本会議 (閉会)	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24

※日程は変更になる場合があります。

令和5年第1回定例会延べ傍聴者数 50名
議会映像配信視聴数 670アクセス
(令和5年3月2日~令和5年4月3日)

編集委員	委員長	水上 美智子		
	副委員長	鬼澤 治男		
	委員	入江 晃	亀山 彰	
		土子 勝也		

議会を傍聴してみませんか!

次回の定例会は
5月29日(月)~
開会は午前10時です

事前の予約は不要ですので、市役所3階事務局前にお越しいただき、傍聴の受付をしてください。
※日程は変更になる場合があります。

